



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の団体の運営基盤の強化に向けて、おおいたボランティア・NPOセンターでの窓口相談(290件)や運営アドバイザーの派遣(69回)、出張個別相談会(3か所)や基礎講座・セミナーを開催(6回)した結果、NPOの育成、活動支援ができた。</li> <li>・(公財)おおいた共創基金との連携により、地域課題解決などふるさとの創生を推進するNPO活動への支援(5件)を行い、NPO団体の育成や基盤強化を図ることができた。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のNPO活動への影響に係るアンケート調査を実施することにより、NPOが活用可能な制度等について周知を図った。</li> <li>・NPO向けの県・市町村の事業や企業等の助成金プログラムを紹介する合同説明会に加え、新型コロナ関係の助成金説明会を会場及びオンライン配信で開催し、マッチングの機会を提供した。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおいたNPO情報バンク「おんぼ」でNPOに関する情報発信を積極的に行った結果、県民のNPO活動に対する理解・参加が進んだ。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターの迅速な設置・円滑な運営に向けて、運営の核となるリーダー(延べ159人)や運営スタッフ(延べ162人)の研修及び現地研修(延べ9人)を行った結果、人材育成と機能強化を図ることができた。</li> <li>・令和2年7月豪雨では、日田市、九重町、由布市に災害ボランティアセンターが設置され、リーダーによる支援等により、円滑な運営が行われた。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	ふるさと創生NPO活動応援事業	82.5	120
	クリーンロード支援事業	95.7	120
②③	NPO協働推進事業	98.9	120
④	災害ボランティアセンター運営支援事業	40.5	121

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県協働推進会議(R2.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より質の高い、他のモデルとなるような協働事例が増えていくようにできればと考える。</li> <li>・ネットワークをつくることは手段であるが、やはり繋がりがながら取り組むことは必要。行政や企業とどう繋がるかも含め検討する必要がある。</li> <li>・行政ができないところをNPOの力を借りてやっていくのか、行政が本当にやらなければいけないところをNPOを利用することで協力関係が出てくるのか、両方あると思うが、NPOと行政や企業とがいかに関わり合いながら情報共有することが必要だと思う。</li> </ul>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業のNPO現場体験活動を実施し、NPOと企業との協働事例を新聞等で広報し、県内各地に広めていく。</li> <li>・おおいたNPO・県民フォーラム等のイベント開催を通じて情報発信の強化・県民理解の促進を図る。</li> <li>・おおいたNPO情報バンク「おんぼ」による情報発信やおおいたボランティア・NPOセンターでの相談及び講座開催など、NPOに対してきめ細やかな支援を行う。</li> <li>・おおいた共創基金を通じたNPOへの補助事業を行い、ふるさとの創生を図る活動等を推進するとともにNPOの育成を図る。</li> <li>・災害ボランティアセンターの迅速な設置・円滑な運営を行うため、運営の核となるリーダーや運営スタッフのさらなる育成に取り組む。</li> </ul>